



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第四〇九号）

冬至 とうじ 十二月二十二日

キャンドルに憩う

早いもので今年も冬至、一年でもっとも昼が短く、夜が長い日です。夜長といえば、秋の季語ですが、実際はこの時期、夜が長くなるのです。クリスマスもありませんし、長い夜時間に楽しみたいのが、キャンドルです。

おかげ横丁の中で、屋根の鬼瓦に「干」マークが刻まれた洋風の木造建物が「灯りの店」。全国から集めたキャンドルは百五十種以上に上るといいます。店内に入ると、クリスマスケーキ用のサンタろうそくから、大豆（ソイ）ワックスと蜜蝋みつろうで作られた乳白色のクマやウサギ、ジェルキャンドルの流星や隕石いんせきキャンドルまでじつにさまざま。アロマの香りがふわっと漂います。

なかでも、透明のジェルワックス製のキャンドルは初めて見ました。触ってみると、ぷにぷにとして柔らかいのです。ろうそくが軟らかい、驚きました。そして、そのジェルワックスを使った作品は、キャンドルの冬の星座を楽しむという趣向で、「シリウスの星をつれて」という作品名がついています。「この作家は、独特の世界観があります」と担当者。

せっかくなのでなにか欲しいと選んだのが、お風呂で楽しむ、アロマキャンドルバスキャンドル。熱に強く、落としても割れないポリカーボネート製カップを使っているため、浴槽に浮かせて大丈夫といえます。さっそく夜、浴室の灯りを消して、アロマキャンドルを浴槽に浮かべました。最初は水面に揺れていましたが、徐々に安定してくると、炎で溶けたろうからアロマの甘い香りが漂ってきました。パームやしの実を原料としたナチュラルなキャンドルはさすがに少なく、気持ちよくお風呂タイムが楽しめます。そして電灯ではなく、キャンドルの揺らぐ灯りに気持ちも安らぎました。いつもより、ゆつくりとお湯に浸かり、しっかりと体も温まりました。お風呂時間の充実に一役かってくれるキャンドルです。

文 千種清美

おかげの里便り

おかげ横丁

○ 大みそか寄席

風情あるすし久の2階にて行われる大晦日恒例の落語会「大みそか寄席」で思いっきり笑い納めはいかがでしょうか。大晦日恒例の福引もお楽しみいただけます。

日 時／12月31日(日) 一部 16:00～、二部 19:00～

場 所／おかげ横丁「すし久」

料 金／前売り 2,200円(税込)、当日 2,500円(税込)

出演者／桂 文我、桂 三象、桂 笑我

○ 新春郷土芸能披露

三重県には古くから受け継がれた民俗芸能や文化財が数多く残されています。

おかげ横丁でお正月にふさわしい、縁起の良い郷土色豊かな伝統芸能をご覧いただき、めでたい新春のひとつきをお過ごしください。

日 時／1月1日(月・祝)、6(土)、7日(日)、14日(日)、21日(日)

場 所／おかげ横丁一帯、おかげ横丁内「太鼓櫓」

※諸事情により内容が一部変更になる場合がございます。

● 伊勢萬歳

正月に家々を訪問し、舞や歌でその家の繁栄を祈る「伊勢萬歳」。

現在、唯一伊勢萬歳師の名を持つ鈴鹿市の村田社中の方々に披露していただきます。

日 時／1月1日(月・祝)

場 所／おかげ横丁一帯 ※各店舗にて門付けを行います。

● 恵利原の早餅つき

志摩市磯部町恵利原地区に、江戸時代後期から伝わる楽しい餅つきです。

囃子唄を歌いながら、1本の杵を2人が蝶のように舞いながら交互に取り合い、手入を交えて三者一体でつきます。つきあがったお餅は、お客さまにお振る舞いいたします。

日 時／1月6日(土) 12:00～、13:00～、14:00～

場 所／おかげ横丁内「太鼓櫓」

お問い合わせ/おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

五十鈴塾

○ 伊勢国司北畠氏の歴史(終)

三重県内各地に伝えられる伊勢国司北畠氏関係の古文書を読み解くことで北畠氏の歴史を見ていこうという本シリーズもついに最終回。今回は永禄5年(1562)に北畠家督を継承したものの、同12年、信長の子茶筌丸(のちの信雄)を養子として天正3年(1575)に家督を譲り、翌年父具教が暗殺されたことで、事実上最後の伊勢国司となった北畠具房の古文書を読みながら、滅亡寸前の北畠氏について考えていこうと思います。中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎!

日 時／12月25日(月) 13:30～15:00

講 師／岡野 友彦(皇學館大学文学部長)

参加費／一般 1,400円 会員 900円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み/電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

わび すけ
侘 助

冬の庭に静かに咲く侘助の花。古くから茶花としても広く用いられています。求肥に白餡とメレンゲを加えた生地で、粒餡を包みました。炉の季節の風情を感じさせるひと品です。

しんえん まつ
神苑の松

五十鈴川沿いの木々もすっかり葉を落とし、神宮神苑に目を移せば、松の緑が新鮮です。粒餡を山芋きんとんで包み、松ぼっくりと雪化粧した神苑の松を表現しました。

としこしまんじゅう
年越饅頭

今年も無事に年が越せ新年を迎えられます様、感謝と願いを込めていただく年越蕎麦。私共では山芋に蕎麦粉をませた生地でこし餡を包んだ薯蕷(じょうよ)饅頭を作ります。少し温めて蕎麦の香りをお楽しみください。